

## 会費納入と寄付金のお願い

企画調整 G 小野塚 新（昭和 54 年電化卒）

### 1. 初めに

国大化学会維持のための会費納入および、学生支援を金銭面で支える寄付につき、多くの会員の方々にご協力いただき、感謝いたします。現状と課題を以下に報告するとともに、さらに多くの会員の方々の会費納入と寄付をお願いいたします。

### 2. 会費・寄付納入の現状について

- (1)新入会員（入学時に会費を納入いただく）については、新たな取り組みにより納入率向上。
- (2)卒業生については、会誌送付中の会員（約 3,800 人）のうち、1,059 人が会費を支払い、国大化学会運営を支えている（一人でも多くの会費納入をお願いします）。
- (3)会費（約 425 万円）は、一般会計に充当し、主に会誌発行、総会開催および運営経費に支出。
- (4)寄付金（約 60 万円）は全額、教育研究支援基金に充当し、学生への金銭的支援に支出。

ただし、毎年約 60 万円以上赤字（600 口分）

課題：会費に対する見返りが強く求められる現状にあり、現役学生支援（金銭面、情報面）のメリットの可視化、卒業生との交流、就

活支援のさらなる強化が求められています。さらに多くの会員の方々の会費納入と寄付が、国大化学会の存続と発展に不可欠です。

### 3. 会費徴収方法ほかの課題について

2014 年 10 月に大学主導で校友会が設立され、校友会費（2 万円）を入学時に一括納入としたのを機に、同窓会費についても、入学時に 3 万円を一括納入して頂くことになりました。また、入学時に未納の学生さんに対しては、在学中に納入してもらえよう啓蒙活動をすすめて参ります。

一方、特に平成以降卒業の正会員の納入率向上が重要な課題です。学生会員への支援はかなり充実してきた感があるので、今後は正会員の為の活動にも力を入れ、会員メリットの向上を目指すとともに、会費納入者と未納入者との不公平感解消のため、現在全会員を対象に送付している冊子体の会誌を、会費納入者に限定することなどを検討中です。

### 4. 会費納入率向上へ対策案

上記の状況を踏まえて、以下のような対策案を、役員を中心に検討中であり、順次実施していきます。

(1) 会員証発行	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 合計 30,000 円以上の会費納入者に国大化学会会員証発行</li><li>・ 会員証提示者は、総会懇親会費等を値引き（値引分は寄付を依頼）</li></ul>
(2) 広報充実	<ul style="list-style-type: none"><li>・ （学生）入学時オリエンテーション、EP 配属時など機会をとらえて活動紹介</li><li>・ （卒業生）HP に総会まとめ資料を掲載</li></ul>
(3) 懇親ツアー	<ul style="list-style-type: none"><li>・ EP 配属時の懇親ツアー（学生役員を幹事団として、横浜港クルーズなど）</li><li>・ 参加料と同時に会費振込みを要請（卒業生の参加も可とし、交流する）</li></ul>
(4) 学生支援事業（継続）	<ul style="list-style-type: none"><li>・ OB・OG 企業訪問、OB・OG と語る会（キャリア形成支援）</li><li>・ 成績優秀者表彰副賞（研究レベル向上支援）</li><li>・ 学会参加費支援（研究レベル向上支援）</li><li>・ ドクターコース進学支援（大学の評価向上にも寄与）</li></ul>